



NADPZ NEWSLETTER

MARCH/ APRIL 2024



拡大する地平線: 新たな地域で根付く自然農法

持続可能な農業実践を求めて、自然農法は私たちの自然農法開発計画（NADPZ）農家やその周辺コミュニティに希望の光として浮上しています。昨年は、東部および中央州に活動を拡大し、意欲的な農家に自然農法の変革力を紹介した重要な節目となりました。

この旅は、ルサカで開催された政府主催のイベントで自然農法の女性たちの感動的な証言から始まりました。彼女たちの言葉に感動した地域の女性クラブは、自然農法を取り入れたいと強い関心を示しました。カワララ村のチャンクピ女性クラブやマクウェサ女性グループから、ムンブワのカピリピリやムンブワ地域協会まで、その熱意は明らかでした。



この影響を直接目にするため、これらのグループの代表者たちは南部州のムババラ自然農法プロジェクトサイトを訪れました。そこで彼らは、自然農法が女性やそのコミュニティに与える変革効果を目の当たりにしました。

インスピレーションを受けたトレーニングチームは、すぐにこれらのグループを訪れ、自然農法の旅を始めるために必要な知識とスキルを提供しました。各メンバーには、秀明インターナショナルの支援を受けたムババラ女性農民組合の献身的なメンバーによって栽培された5kgの在来自然農法の種子が寄贈されました。



しかし、自然がその予測不能さを思い出させるように、ザンビアは厳しい干ばつに見舞われ、国中の畑が壊滅的な被害を受けました。ザンビア大統領からの救援食品支援の訴えは、2023/2024農業シーズンの困難に直面する農家の苦境を反映していました。それにもかかわらず、一部の地域では、散発的な降雨のおかげでわずかな収穫を得ることができました。

東部州では、自然の試練があったにもかかわらず、新しい自然農法農家はその回復力を示しました。シンダの両グループはわずかな収穫を得ることができ、自然農法の種の存続を確保しました。彼らの緑豊かなトウモロコシや落花生の畑を訪れた際、私たちは種の生存だけでなく、これらの農家が示した決意の精神を喜び合いました。



将来を見据えて、収穫された種子は慎重に収集され、南部および中央州の選ばれた農家に配布されます。この戦略的な取り組みは、自然農法の遺産を守るだけでなく、持続可能な農業への道を歩むより多くの農家を支援することを目的としています。

これらの新しいグループによる自然農法の受け入れは、ザンビア農家の不屈の精神を証明しています。彼らの情熱と回復力は、気候変動がもたらす困難にもかかわらず、輝かしい未来への道を照らしています。彼らの旅を追い続け、さらなる成長と成功を目の当たりにすることを楽しみにしています。そして、私たちのコミュニティに新しいメンバーを迎え入れることを期待しています。

農家の力を引き出す：農業の課題に対する多角的な収入源の探求

中央州での不作に応じて、ムンブワ協会は代替的な収入源を探る方向に努力しています。ザンビアの農業シーズンは11月から4月の6ヶ月に限られているため、農家は家族を年間通して養うための努力を多角化しています。これらの取り組みには、ガーデニング、野菜栽培、裁縫、ベーキングなどが含まれます。

3月に始まり、カピリピリおよびムンブワ地域協会は野菜ガーデニングとヤギの飼育プロジェクトを開始しました。彼らはそれぞれ52頭のヤギを調達し、新しいメンバーが生まれた子ヤギを受け取る「ペイ・イット・フォワード」モデルを実施し、ヤギの個体数の増加と所有のアクセス性を促進しています。



地元のヤギの品種は、厳しい気候に対する耐性、低品質の飼料での成長、一般的な病気に対する部分的な耐性があるため、好まれています。これらの利点に加えて、ヤギの飼育は農家に肉と乳製品の生産の利点を提供し、困難な時期における食料安全保障と収入の安定性を強化します。

これらの取り組みは補助的な収入を提供するだけでなく、困難な時期における回復力を確保するための代替的な食料源を確立します。





女性の力を引き出す：誇りをもって女性の日を祝う

毎年3月、私たちのコミュニティは20年間欠かさず国際女性デーを祝ってきました。誇りと熱意を持って、私たちの女性メンバーは一番良い服を着て、ムヨベ・チランタンボの折り返し地点から3キロメートルを行進し、ムバウォファプロジェクトサイトに到着します。道中、彼らはエンパワーメントのメッセージが書かれたバナーを掲げ、喜びの歌を歌い、連帯と進歩の精神を体現しています。



今年の女性の日の行進は、地元の国会議員からの寛大な支援と大統領府からの支援で実現しました。「女性と少女への投資：進歩を加速する」をテーマに、大統領はリビングストーンでのメインイベントでの演説で、家族やコミュニティの発展を促進する女性の重要な役割を強調しました。彼は、女性の福祉向上におけるさらなる進展の必要性を認識しつつ、経済のさまざまな分野で女性をエンパワーメントする政府の決意を再確認しました。

NADPZの長年の女性エンパワーメントの取り組みが国家のアジェンダと一致していることを目の当たりにするのは心温まることです。女性のエンパワーメントは、組合内の若者を向上させるだけでなく、周辺コミュニティでの若者たちの向上をも引き起こします。この連鎖によって、私たちは地元の女性グループへの支援が増加することを期待しています。政府の支援によって、私たちの女性の服装は国の鮮やかな色で飾られ、支援に対する感謝の意を象徴しています。



ムバウォファ自然農法プロジェクトサイトは進歩の象徴として、コミュニティの関与とメンバーの福祉向上を目指す政府のイニシアチブの中心地として機能しています。私たちの自然農法へのコミットメントは揺るぎないものであり、プロジェクトサイトはコミュニティ開発とエンパワーメントの本質を体現しています。



将来を見据え、私たちは女性、少女、エンパワーメントと進歩を求めるすべてのメンバーへ揺るぎない支援を提供することを再確認します。共に、私たちはすべての個人が繁栄し、私たちの成長と繁栄の集団的な旅に意義深く貢献できる未来を目指して努力します。



若者の未来を引き出す：2024年カベタ技術訓練センター（KTTC）のクラスを垣間見る

3月、カベタ技術訓練センター（KTTC）のホールには2024年のクラスを迎える興奮の雰囲気漂っていました。5年間の中断を経て、特に裁縫クラスで入学者数が顕著に増加しました。この期待感は、秀明インターナショナルおよび日本の秀明の支援により2023年11月に提供された最先端の設備の到着だけでなく、教室にいる若い男女が体現する明るい未来への約束によってもたらされました。

このイニシアチブの開始を振り返り、私たちのビジョンを共有する自然農法メンバーとその家族の重要な役割を思い出しました。地方コミュニティ内で実現可能な機会を提供することで農村から都市への移住を抑制するという私たちの共有ビジョンは、目の前にある変革の可能性を目にしたときに深く響きました。



学生と新しく任命されたTEVETA認定の技術訓練講師の熱心な顔を見て、空気中に新たなエネルギーが満ちているのを感じました。出席者の中には、2018年のクラスの元大工の学生であるフェリックス・ムテンボと再会することができました。彼はカンファレンスホールのために見事な木製テーブルを作ることでその技術を披露しました。フェリックスの旅は、このカベタ職業訓練センターが数多くの個人の生活に与える影響を象徴しています。



翌日、私たちは自然農法と学生たちの関わりを直接目撃しました。これは、プロジェクトサイトでの1年間の任期中のカリキュラムと自給の重要な要素です。私たちの組織の精神に根ざし、自然農法は食料源管理と収入創出スキルを教え込む手段として機能し、若者の間に農業への情熱を再燃させています。



学生との交流の後、現在女子クラスを収容しているプロジェクトサイト農場の寄宿施設を訪れました。男子生徒のための専用の寄宿舎の建設が将来計画されているため、それまでは代替の住居で男子を収容する計画が立てられました。

今後を見据え、2024年のクラスの進捗を追跡することを楽しみにしています。12月には、カロモのTEVETA認定訓練機関での試験をサポートし、政府公認の資格を取得し、コミュニティやそれ以上の場所で意義深く貢献できるようにすることを誇りに思っています。